

経営比較分析表

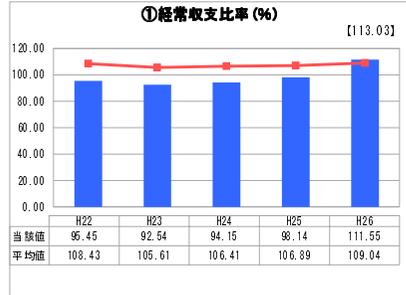
埼玉県 杉戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A5
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	82.04	99.92	2,754

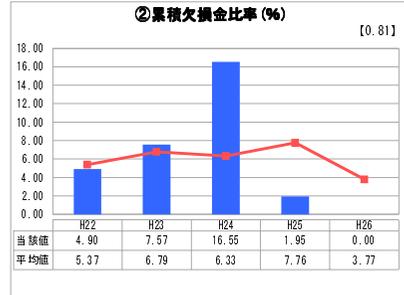
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
46,298	30.03	1,541.72
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
46,139	30.00	1,537.97

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
[]	平成26年度全国平均

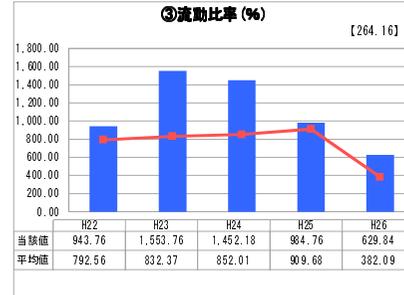
1. 経営の健全性・効率性



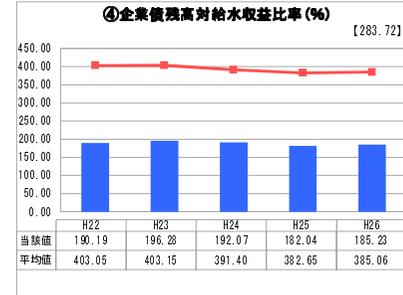
「経常損益」



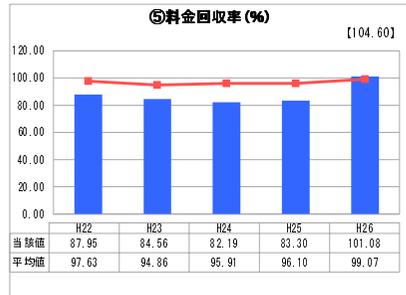
「累積欠損」



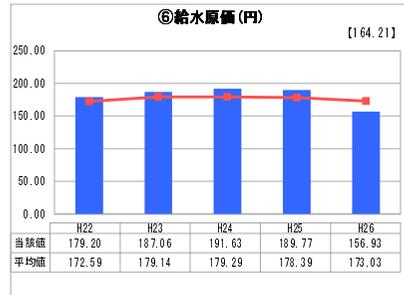
「支払能力」



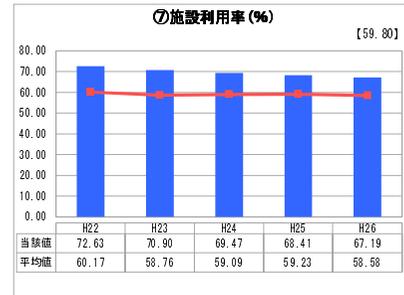
「債務残高」



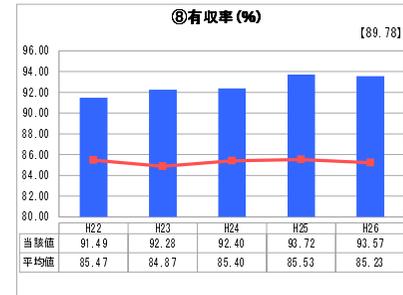
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

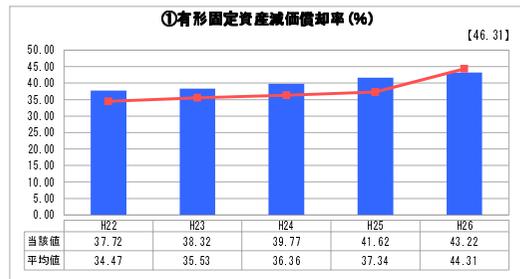


「施設の効率性」

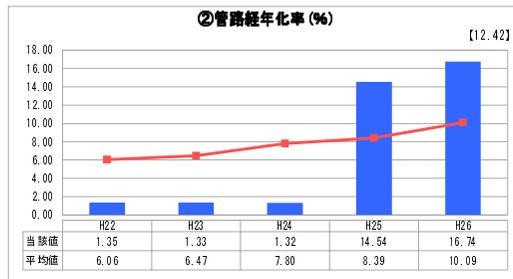


「供給した配水量の効率性」

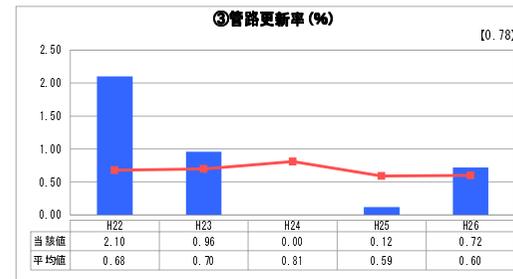
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支は赤字が続いていたが、H26年度には、会計制度の変更により、黒字となった。
 ② 純損失については剰余金の取崩し対応をしているので、繰越欠損金は発生していない。H26年度には純利益が生じており、累積欠損金は発生しなかった。
 ③ 流動比率については、平均値を上回っている。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は平均を下回っており、一定水準を保っている。
 ⑤ 料金回収率は継続して100%を下回っていたが、H26年度には会計制度の変更により100%を上回っている。
 ⑥ 給水原価は経費の見直し等を行い、節減に努めている。
 ⑦ 施設利用率は平均を上回っているものの、充分な水準を有している。
 ⑧ 有収率は、平均を上回っており、充分な漏水対策の効果が表れている。

2. 老朽化の状況について

平成25年度に管路経年率について再調査し、実績値を把握し、順次更新事業を実施している。

全体総括

平成9年度を最後に料金の見直しを実施していないことから平成30年度を目標年度として原価の上昇及び老朽管更新事業の財源確保を勘案し、料金の見直しを実施する予定。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。